

村の人口	
52. 11. 30 現在	
人 口	男 2,244
	女 2,345
	計 4,589
世 帯 数	997



蓬田小学校父親参観日

父への憧憬 あこがれ

僕のお父さんは大きく強く大木のようだ。
 誰にも負けない力持ちの横綱だよ。
 どんな暴風雨雪にもめげないよ。
 僕のお父さんは大黒柱のようだ。
 どっかと横座にあぐらして押しても引いても小ゆるぎしない。
 いつでも家中をにらむ仁王様だよ。
 僕のお父さんは厳しいよ。
 曲ったことは大嫌い。いつでも、何んでも判る顔色しているよ。
 僕のお父さんは働き者の一人者。
 顔や肌は赤銅色。
 毎日暇なく朝から晩まで働き通し。
 腕や指は節くれ立ってるが目につくよ。
 それでも僕はお父さんが大好き。
 大きくなったらお父さんのようになりたいな。

新嘗祭 献穀

村長 坂本 大博

本年度御米の献穀者に蓬田の篤農家武井一郎氏が認定され、その家族一名(妻)と関係者として村長が皇居に参内、賢所参集所に於てつ、がなく献上を済ませて純農村たる本村の名譽と面目を果たした。

秋に十月二十九日午前八時三十分坂下門から黒塗の乗用車にて参入前庭に下車、徒歩にて参集所に入り午前九時献穀の間に於て献納式が行なわれ北海道に次いで目出度く献納した。ちなみに式次第を披露致しますと

時刻献穀者手水

次献穀者以下廊下に整列
献穀者は献穀を捧持して先頭に立つ

右米・左粟家族及び関係者は後に従う

次献穀者以下参進「献穀の間」に入る

献穀者を先頭に室内に入り献穀者は献穀を白木の八足机の上に置き右米・左粟みずから箱の蓋をはずし米及び粟が拝見できるように袋の口を開いて一札する家族は献穀者の後に立ち関係者は向かつて左側に一列に侍立する

次掌典補員名献穀の種類品種名量及び献納者の氏名を奏読する
次掌典献穀を拝見(先米次粟)終わって受納の旨を申す
次献穀者以下「献穀の間」を退出し休所に入る

さて賢所は宮中三殿の一つであり従って建物の外観は全く御宮の様で内部は白木白壁造りで実に清潔なものと同様であり、又私共は略礼服と定められた。わずかの時間乍ら本場に厳肅そのもので全く緊張致します。

終つて一同(北海道及び東北六県関係者)吹上御所門前に整列兩陛下の御面接を賜り先に天皇陛下の御言葉、次いで作柄の御下問あらせられ北海道、北東北三県代表(岩手)南東北三県代表(宮城)夫々の知事御奏上。皇后陛下より御体を大切にとの御いたわりの御言葉を賜わり兩陛下の万才を三唱して一切の儀式が終了せられたものであります。

私達は引続き皇居内拝観が許されたので東御苑をも参観し午後四時頃県の宿泊所に飯り全日程を終了した。
生まれて初めての光栄に浴し村の恩義に一一おの感謝を自覚致しました。どうか特に農業後継者の皆さんにはよりよく精励して農魂を養いこの村の誇りを後世に伝えられん事を切望して止みません。

昭和52年度新嘗祭 献穀者として

蓬田 武井 一郎



新嘗祭は古くから行われている宮中における重要な古式行事の一つとして毎年十一月二十三日と決つていことであるが献穀は全国各県より出来秋の新穀を天皇陛下に献上する儀式であつて去る十月二十九日皇居賢所で行われた。

異常低温と冷害の悪条件下に今年の献穀者として通達された四月の播種期から育苗に重責を担つて青森県奨励品種アキヒカリを供し、五月二十五日幸い好天に恵れ献穀田は神官の祈禱式を行つた後蓬田村役場を始め関係者及び村農協農業改良普及所、農試外、村内関係者多数の立会いのもとにしめやかに田植えが行われた。水及び肥培管理もさること乍ら天候も必ずしも良くなかつたため、果して献穀の使命達成は出来るかどうか懸念された、田植え後予想通り東風も多く度毎の不安は続いたが七月七日、八日は意外の高温に恵れ八月十七日出穂の際は稍々安心はいたしたものの、スタレまで張った位でした。その後降雨量も少く登熟も割合順調に経過され、十月十日願いかつて献穀田は喜びの稲刈りをする事が出来た。田植当時から冷害を予想して、品種はアキヒカリの外、不系一り計画通り「アキヒカリ」を献上することが出来た。ハサ掛け乾燥で脱穀の後板摺調整並びに精米は県農業試験場へ依頼して行つたものであるが幸いに思つた以上の良質とあつて一増その意を強くいたしました。更に家族揃つて選米をおこない、献穀に参集所より通達十月二十八日と決まつた、終始蓬田村坂本村長も後援者として付添われ、県農林部よりは工藤課長補佐、三浦係長及び青森県農務所よりは行政連絡課の三上主査の案内により二十九日八時三十分皇居坂下門より参入することになり、青森県としては精米と精粟との二組で帯同八名、宮中賢所参集場に入る事が出来、よう／＼して水稲村を誇る蓬田村産米を献上する幸運に目ざめた。献穀献納式次第はお、むね次の通りであつた。午前九時献穀者手水、献穀者以下廊下に整列、献穀者は献穀を捧持して先頭に立ち、右米、左粟、家族及び関係者並び蓬田村長後に従う。次いで献穀者以下参進し、「献穀の間」に入る、献穀者を先頭に室内に入り、献穀者は献穀を白木の八足机の上に置き、みずから箱の蓋をはずし、米及び粟の拝見出来るように袋の口を開いて一札する、家族は献穀者の後に立ち、関係者は向かつて左側に一列に侍立する。

次いで掌典補より県名、献穀の種類、品種名、量及び献納者の氏名を奏読され、次に掌典献穀を拝見(先米、次粟)終つて受納の旨を申す、以上

で献穀者以下「献穀の間」を退出し、休所に入るの順で献上式はおごそかに終了した。
尚当日の献穀は北海道と東北七県で各県別に行われ、次に富川掌典より御下賜品を手渡され、宮中三殿、賢所、皇靈殿、神典等のご説明の後、吹上正門前まで徒歩で庭園等の説明あり、整列して漸く吹上御所より天皇皇后両陛下にお出ましになり、天皇陛下よりのお言葉を賜り、次いで先に各県別の作況の報告を伺われ、同報告の後更に天皇陛下よりのお言葉をお聞き、次に皇居陛下よりのお言葉を賜り、最後に晴天高らかに一同万才三唱。万事大任を果すことの出来た喜びは一瞬感きまわり、感動の中に総てが終つた。続いて米、粟共に献穀の慶びを交され、共に午後三時過ぎまで皇居内をご案内され二重橋前で行は解散された。省るに献上米だけに殊の外、重責を感じさせられたが幸いにも冷害も克服なり晴れてこのような慶びを迎えること出来ました事は引いては村民の皆様方の御指導の賜と感謝申し上げる次第であります。
尚又今回のため特に御指導ご援助賜りました村当局を始めとする農業協同組合及び村内外、関係各位の心からなるご協力に対し、間もなく終生忘るゝ事の出来ない喜びを深く感じると同時に心から御礼を申し上げ、今後とも微力ではありますが村農業発展がため、お報いいたし度い所存であります。

産経課の4月からの

米の生産調整の概要(略5)

蓬田村役場

米の過剰現象からみて、明年から農林省は一七〇万トンの生産調整を実施する方針を固め、十月三十一日各県主務部長会議を開き、水田利用再編対策案大綱を明らかにしたことは皆さんご承知のことと思う。主な中味は、開田の抑制、転作未達成には、翌年度に未達成分を上乗せするとか、転作を十ヶ年計画とし、第一期を昭和53年から55年までの三ヶ年を原則として固定する、また集落を最少単位とした区域で、米作農家全員による水田利用再編計画を立てる、また転作奨励補助金は、特定作物と、永年性作物については、基本額を五万五千円、また、地域ぐるみの転作率に応じて最高二万円を加算する。特定作物は、大豆、飼料作物、麦類、ソバ、甜菜、永年作物は、果樹、木本性作物、アスパラガス、ホップ等である。これの他に一般作物には、奨励補助金が基本額が四万円、計画加算額が一萬一・三万円。農協に水田管理を委託した場合、また土地改良通年施行には基本額四万円を補助することになっている。これらはいづれも、今の段階では政府案の骨子で

- 一、技能講習種目
- 二、講習日時
- 三、対象者
- 四、実施機関及び場所
- イ 型枠：建設業労働災害防止協会(青森県建設会館内)
- ロ 地山掘削：(一)

種目	計画人員	経験年数	備考
型枠	五十人	三年以上	事業所の証明
地山掘削	五十人	三年以上	事業所の証明
ガス溶接	五十人	経験不要	の証明
計	百五十人	※	※

例年行われて来ました技能講習会が本年度も実施されることに決まりました。実施時期は一月下旬の予定です。実施種目は次のとおりです。

昭和五十二年冬期技能講習会について

ある。本村でもこの対策に充分な配慮をしながら、今後、有利な水田転作を推進したいと考えているので、農家の皆さんのご協力を賜りたい次第である。次には、有利な転作々物について、その作り方所得試算、作型別所得試算を資料としてお知らせしたいと思います。

ハ ガス溶接：青森溶接協会(青森共同高等職業訓練校内) 受講希望者は十二月二十日まで 役場産経課へお申し込み下さい。

◎第十九回青森県農業祭が十一月五日から七日まで鶴田町で開催され次の方が受賞されました。

- 賞区分 三等
- 高田隆広氏 郷沢部落
- 品種名 米寿(トマト)
- ◎昭和五十二年第十九回県農業士認定される。
- 青年農業士
- 森 秀夫氏 二十七才

農業経営状況

- 水田五五〇アール、トマト
- 百坪、肉牛四頭
- 集団活動歴
- 蓬田4HC・OB
- 拓農会役員

昭和五十一年度第十八回県農業士に阿弥陀川八戸良幸氏が認定されております。



農業士 八戸良幸氏

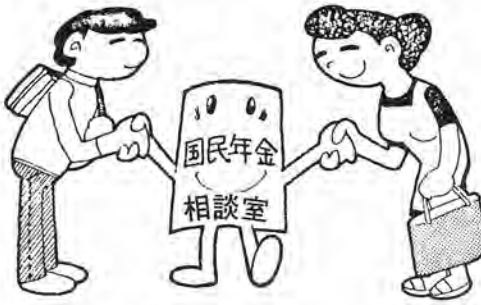


農業士 森 秀夫氏

定期郵便貯金の特別取扱い

ただいま、郵便局では、老齢福祉年金などの支給をお受けの方に、とくに高い貯金利率を適用する定期郵便貯金の取扱いをいたしております。

- ご利用できる方
 - 老齢福祉年金、障害福祉年金、母子福祉年金、準母子福祉年金、老齢特別給付金、児童扶養手当、特別児童扶養手当、福祉手当、原簿被爆者の特別手当・健康管理手当および保健手当の支給を受けている方
 - お預けになれる金額 あひとり 100万円まで
 - お預け期間 1年
 - 貯金利率 年 6.75%
 - 取扱い期間 52年5月21日から12月31日まで
- 郵便局をあらかじめ1局お決めのうえご利用ください。なお、銀行など他の金融機関で、すでにこの種の預貯金をご利用になられている場合には、お取扱いできません。お申し込みの際には、お手数でも年金証書・手当証書(または保管証)・受給者証明書をもちってください。



わたしは主婦で、主人が職場で年金に入っていますが、こういう場合は国民年金に入らなくてもいいのでしょうか。

国民年金は強制加入が原則ですが、例外として、他の公的年金に加入している人たちの配偶者(いわゆる主婦)や二十才になつた学生さんは強制適用から除外されています。しかし、これらの人たちは、加入を強制されていませんが希望すれば加入することができます。こういう人たちのことを、かならず入らなければならぬ人(強制加入被保険者)に對して、任意加入被保険者、といいます。そして、損得の点からいえば、早く加入した方が将来のためによいといえます。国民年金は、早く加入すれば、それだけ年金額が多くなるしくみだからです。

蓬小学芸発表会



蓬 中 文 化 祭

あノうちの……
なんだ、となりの娘かあ……



お母ちゃん
メシできたよう



「ズホホ、
うめエうめエ」



美し過ぎる似顔絵
ちょっとひり自信過剰?



オッ美しいなあ……
花が……



なんと、この虫歯!!
これがほんとの
ひどい「歯ナシ」



“世紀の対局”



タタリジャー!!

“ガンバッ
ティマス
英単語の勉強”



学級全員フルに活躍して
つくった「フル新聞」



迷場面
父ひっくりかえる



税務課コーナー

◎今春高卒の娘に対して課税されますか

問 私の娘は、今春高等学校を卒業して会社に就職しましたが、昭和五十三年度分の住民税が課税されるかどうか教えてください。

答 個人の住民税は、退職金を除き前年中の所得を基準として課税するものですから、今年の春に高等学校を卒業し、就職されたあなたの娘さんのような場合は、今年度の住民税は課税されません。

また、来年度は昭和五十二年の所得を基準として、住民税が課税されることとなりますが、娘さんが来年の一月一日現在で満二十才未満であって、昭和五十三年の所得が八十万円（給与の収入金額にしますと年間約一三三万円になります）以下である場合には課税されません。

物品税の負担割合

ダイヤの指輪 450,000円 160,000円(35%)	化粧品の詰め合わせ 1,500円 3,000円(200%)	香水 1,000円 1,000円(100%)
カラーテレビ 120,000円(10,000円) 8,750円	ピアノ 450,000円 20,000円(4%)	



土地家屋を 取得したら!!

問・先月、不動産（土地、家屋）を購入したのですが？

答・県税では不動産取得税が課せられます。

問・不動産取得税とはどんな税金のですか？

答・あなたが土地や家屋（住宅、店舗、工場、倉庫、小屋等）を購入したり、贈与を受けたり、また家屋を新築したり、増改築した場合課せられる税金です。

問・税金はどのくらいの額になるのでしょうか。

答・土地や家屋を購入した時は市町村の固定資産課税台帳に登録されている価格の三パーセント、家屋を新築した場合は、評価額の三パーセントが税額になります。

住宅を建築した時に限り課税標準額の算定にあたって一戸について三百五十万円が評価額から差し引かれます。

課税標準額となるべき額が次の価格に満たない場合は課税されません。

土地 十万円

家屋 建築した場合 二十三万円

その他の場合 十二万円

その他の場合 十二万円

その他の場合 十二万円

その他の場合 十二万円

納税は

- * 県村民税第4期分
 - * 固定資産税第3期分
 - * 国民健康保険税第4期分
- 12月25日まで—

たばこは村内から 買いましょう。

たばこ消費税は村の大きな財源です。

9月分消費税	1,137,560円
10月分	868,540円



みぞれ、雨天時の 交通事故を防ごう

12月に入り、平野部でも雪のたよりの聞かれる頃となりました。

毎年この時期になりますと、みぞれや雨の日が多く自動車の運転者や歩行者にとって、路面がぬれたり凍ったりして滑りやすくなるなど交通事故につながるいろいろな悪い条件が出てきます。

運転者、歩行者、自転車利用者のみなさん、ひとりひとりが次の事を守って交通事故防止につとめて下さい。



運転者のみなさんへ

1. 安全速度を守り、スリップ事故を防ごう。
2. 自動車等の点検・整備は完全に。
3. 車間距離は十分すぎる程に。
4. すべり止め装置の準備は早めに。

歩行者、自転車 利用者のみなさんへ

1. 傘を前にさしかけて歩いている人を見かけますが、良く前が見えるように心がけて下さい。自転車利用者は両合羽などを利用しましょう。
2. みぞれや雨の日の夜は見えにくいので、目につきやすい服装や、反射テープなどを利用しましょう。

豊永放談

「虹よ永遠」

読後考

(農協婦人とわたし)

▲これは前全国農協婦人組織協議会長を十一年間勤めた神戸ヒサコの著書である。

▲かつて蓬田農協に立寄った際坂本敏指導課長からこれを読まないかと渡された一冊がこれであった。

▲そこで全国農協婦人部長はどなたであるか私の頭の中にサラ／＼なってきた。

▲あえて云えば知る能力もなく必要性とも全くの門外であった。

▲この著書を読み初めて知ったわけである。

▲失礼ではあるが農協役員も婦人部の役員でも知る者は少なからうと思う。

▲オール知っておればあやまる。

▲彼女は愛媛県小松町の人で明治三十年生れで私が三才のとき愛媛県女子師範を卒業し教師となり退職後要請に応じ会長職を勤めることになる。

▲彼女は最初手がけたことは全国の未組織を如何にして仲間に加えることであった。

▲彼女の精力的エネルギーは東西南北男も及ばぬ活動力を以て全国三百二十万人の部員を擁しようとする一大部隊となる。

▲三百二十万人の部員の組織を如何に団結を固めるには各人の組織人として教育が要求されることに着目し、更に農村生活が都市化されつゝあり、更に農村に都市ニュータウン化により農村はなれの風潮は上げ潮の如く押し寄せて来る。

▲量的発展から質的充実を高めるため集落に至るまで学習と実践の徹底に努めることになった。

▲先に昭和三十三年第三回大会において部員一人十円カンパにより三百二十万円で映画「荷車の歌」の制作を議決された。

▲彼女はそれを引継ぎのときは半分しか資金は集めておらず、末端組織の弱さを身をもって体験し、血のにじむ思で奔走し既に婦人の手によって「荷車の歌」が完成されたのである。

▲組織固めと平行して映画の完成こそ当時の婦人部一人／＼の頭の中から消えないこと、思れる。

▲然るに去る者疎(う)としか、時が流れるにつれ人々の頭の中から消えさせたことな話す者も少なくなった。

▲全国の婦人部はどうなっておるのか私は知る由もない。

▲毎年米価運動は年中行事のようなもので新聞等に報導され農村婦人の姿が目に見えるのみである。

▲情報活動がどうなっておるのかこれからでも知りたいと思っておる。

▲その外彼女は結婚の相談に応じたりあらゆる社会教育に心を砕いている。

▲教師あがりだからと云えばそれまでだが、決してそんなうすつべらなものではない。

▲偉大な婦人活動家と評するに充分な素質がある。

▲「荷車の歌」は「女の一生」に次ぐ名映画であると私なりに評価している。

▲もう一度ゆっくりあの映画を観賞したいものだと思っておる。わが農協婦人部で計画しフィルムを借り求めもう一度あの映画を観て往時を思い変り行く現代農村世相と対照してみるの当を得たものではなからうかと考えておる。

▲更に私たちが会員一人十円出して作った映画であると認識を新たにすることを要がある。

▲神戸氏が今だ元気であればふるさとにおいて社会教育に力を注いでおること、思れる。

▲その後の様子を追跡してみたい気をもっているこの頃である。

▲かつて明治神宮の社に青年会館を建設の際当時の全国青年団員一人一円のカンパによって青年の殿堂に申しもものであったが時代の推移によって不自由な面が生じ現在大改造にかかっている。

▲当時の一円は土方作業に出ても一円八十銭か八十五銭位の賃金であった。

▲当時の青年は現在六十才前後の者が多いそれらの者の頭の中に吾々一同の力で立派な会館が生れたものだと今でも消えておらない筈である。

▲婦人部員一人十円によってあの大作が完成したことは忘れてはならないことだと思れる。

▲「災害は忘れた頃にやってくる」こんな言葉があるように、何ものでも忘れる頃に思い起すのも決して無駄なものではなからうと考えておる。

一九七七・七・二〇



展示会場

松風会員盆裁展示会

(高令者教室生盆裁クラブ)

去る十一月十日、十一日の二日間玉松児童館に於て松風会員(会長細谷典三郎氏)による盆裁展示会が開催され村民の目を楽しませてくれた。



展示会場

戸籍の窓口

(市町村名は本籍の表示です。)

十月受付分

◎お誕生おめでとうございます。

- 藤田 亜希 (修一・二女)
- 伊藤部 美希子 (良次・長女)
- 越田 智一 (正美・長男)
- 木村 慎介 (昇次・長男)
- 永沢 雅也 (勝幸・長男)

◎結婚おめでとうございます。

- 横山 憲光 (中沢)
- 藤田 幸枝 (神奈川県)
- 橋本 峰喜 (新潟県)
- 中村 佳子 (広瀬)
- 高杉 重久 (青森市)
- 倉谷 恵子 (阿弥陀川)
- 倉谷 正美 (阿弥陀川)
- 木村 久美子 (阿弥陀川)
- 武井 俊保 (蓬田)
- 広海 志保 (青森市)
- 佐々木 宗秀 (青森市)
- 石黒 秀子 (青森市)
- 稲葉 弘子 (高根)
- 今田 茂子 (青森市)
- 吉崎 恵利子 (蓬田)
- 小泉 平子 (青森市)
- 柳島 洋光 (中沢)
- 高田 修悦 (青森市)
- 土屋 育子 (東京部)
- 坂本 俊子 (青森市)
- 福井 貢子 (郷沢)

◎お悔み申し上げます。

- 小松 善春 (阿弥陀川)
- 八幡 伊三郎 (高根)
- 工藤 そよ (長科)